

NPO法人  
東京シティガイドクラブの **文化財めぐり**

東京シティガイドクラブ事業の申込は…

- 申込方法 メール (tcgcoffice@yahoo.co.jp) かFAX (03-6912-1518)、又は往復はがきでコース名・住所・氏名・年齢・電話番号・FAX番号を明記の上お申込みください。定員になり次第締め切ります。
- 申込先 〒113-0033 東京都文京区本郷3-17-7 太田UTビル3F
- 問合せ先 NPO法人 東京シティガイドクラブ TEL: 03-6912-1518  
http://tcgc.jp/

### 1 江戸から東京へ 江戸城から皇城へ

江戸から東京へ決定づけた、明治天皇の皇城入場、その現場である二重橋、明治政府の高官岩倉具視の住居跡、明治維新の原因となった桜田門外の変、その現場である桜田門、皇女和宮の入城した大手門、それを含む東御苑を巡ります。

●コース 東京メトロ有楽町線桜田門駅3番出口地上9:50集合→桜田門→二重橋→外苑(岩倉具視旧居跡)→坂下門(坂下門の変)→和田倉門→大手門(本丸跡、天守台跡、二の丸庭園等)→大手門13:00解散

日 時 平成30年10月13日(土)  
募集定員 20名

応募締切 平成30年10月6日(土)  
参加費 500円(保険料含)

### 2 松陰神社～豪徳寺散策

今年明治150年。松陰と直弼、共に近代日本の幕開けを夢見ながら幕末それぞれの立場から厳しく戦い抜いたこの二人は、何の因果か世田谷の一面わずか数百メートルしか離れていない所に静かに眠っています。折しも松陰祭りの行われるこの日、二人を偲びながら歩いてみましょう。

●コース 東急世田谷線宮の坂駅10:00集合→世田谷八幡神社→豪徳寺→世田谷城址→世田谷区役所→松陰神社→松陰神社商店街 松陰神社前駅12:30解散

日 時 平成30年10月28日(日)  
募集定員 20名

応募締切 平成30年10月21日(日)  
参加費 500円(保険料含)

### 3 維新150年に想いを馳せ、文学の歴史を辿る本郷

慶応3年生まれ作家、漱石・子規・露伴・紅葉・緑雨の活躍の舞台が文京区。早世した啄木・一葉が生きた本郷、菊坂、湯島。その所縁の地と足跡を訪ねます。

●コース 東京メトロ南北線「東大前駅」集合9:50-東大農学部・構内一法真寺→徳田秋声旧宅→鳳明館→赤心館、菊富士ホテル跡→賢治旧居跡→旧伊勢屋質店→鑑坂→文京ふるさと歴史館→啄木喜之床→東京メトロ丸ノ内線本郷三丁目駅解散14:30

※昼食: 東大生協食堂(各自)

日 時 平成30年10月29日(月)  
募集定員 30名

応募締切 平成30年10月22日(月)  
参加費 500円(保険料含)

### 4 隅田川重要文化財3橋(永代橋・清洲橋・勝鬨橋)と清澄庭園

関東大震災後の復興橋梁の永代橋・清洲橋、万博の玄関口になるはずだった勝鬨橋。当時の最先端の技術により造られた国指定重要文化財3橋を中心に東京の発展と共に隅田川に架けられた橋を巡ります。外国人居留地があった明石町や明治を代表する清澄庭園(都指定名勝)にも立寄り岩崎家三代が築いた名石の庭を觀賞します。

●コース 勝どき駅13:00集合→勝鬨橋・橋の資料館→明石町→佃大橋→中央大橋→新川公園→永代橋→清洲橋→清澄庭園解散16:30頃(歩行距離約5.5km)

日 時 平成30年10月30日(火)  
募集定員 20名

応募締切 平成30年10月23日(火)

参加費 500円(保険料含)別途入園料150円(65歳以上70円)

## 5 「東京150年の重要文化財建築を見る」日本橋から丸の内

デパート初の重要文化財に指定された高島屋日本橋店、江戸の経済、文化の中心であった日本橋、百貨店建築発展を象徴する三越日本橋本店、昭和の米国式オフィスビルの典型である三井本館、明治に建築された日本銀行本店、明治の市区改正計画による東京駅丸の内駅舎、丸の内オフィス形成の一角を担う明治生命館を巡ります。

●コース 地下鉄銀座線・東西線「日本橋」駅下車高島屋地下1階出入口12:50集合→高島屋日本橋店→日本橋→三越日本橋本店→三井本館→日本銀行本店本館→東京駅丸の内駅舎→明治生命館16:30解散

日 時 平成30年11月1日(木)  
募集定員 30名

応募締切 平成30年10月18日(木)  
参加費 500円(保険料含)

## 6 白金～目黒不動尊散策

若き島崎藤村が学んだ明治学院の歴史的建造物の数々。ハイセンスが売り物のプラチナ通り。八百屋お七ゆかりの大円寺、江戸庶民の参詣で栄えた目黒不動尊など、山手七福神の参拝道路沿いの約3.5kmの往時を偲びながら散策します。

●コース 東京メトロ南北線・都営三田線「白金高輪」駅改札口13:00集合→明治インブリー館(公開中)→瑞聖寺→大円寺→目黒不動尊解散16:30

日 時 平成30年11月3日(土祝)  
募集人数 20名

応募締切 平成30年10月27日(土)  
参加費 500円(保険料含)

## 7 増上寺の文化財をめぐる

江戸時代、徳川将軍家の菩提寺だった増上寺。六人の将軍が眠っています。文化財ウィーク期間中には経蔵が一般公開。文化財の多くは戦災で焼失していますが、写真や絵図でわかりやすくご案内致します。ツアーは増上寺の支院を含めて回り、増上寺の大きさを感じていただきます。

●コース JR浜松町駅北口改札前13:00集合→大門→増上寺三解脱門→本殿→経蔵→台徳院総門→貞恭庵(和宮ゆかりの茶室)→徳川家霊廟(入場せず)→安国殿(休憩)→金地院→東京タワー(旧紅葉館跡・入館なし)→宝珠院→本殿16:00解散

日 時 平成30年11月3日(土祝)  
募集定員 20名

応募締切 平成30年10月27日(土)  
参加費 500円(保険料含)

## 8 門前仲町から佃への散歩道で出会う文化財

隅田川に沿って散策しながら、明治維新以降作られ今に残る国や江東・中央両区の指定文化財を訪ねます。明治の遺産を発見しながら下町情緒あふれる街を歩きます。

●コース 東京メトロ東西線・都営大江戸線「門前仲町」駅1番出口地上12:50集合(深川不動尊仲見世入口)→深川不動尊→富岡八幡宮→八幡橋(国重要文化財)→深川住吉社→黒船稲荷(四世鶴屋南北宅跡)→東京海洋大学・明治丸(国重要文化財)→相生橋→石川島造船所跡→住吉神社→佃めぐり→西仲通り(もんじゃタウン入口)→月島駅16:00解散

日 時 平成30年11月3日(土祝)  
募集定員 30名

応募締切 平成30年10月26日(金)  
参加費 500円(保険料含)

## 9 “幕末～明治150年時空を超えて” 日比谷～霞が関～赤坂を歩く

江戸時代には広大な大名屋敷が建ち並んでいた日比谷～永田町周辺を歩き、武家屋敷跡に建った官庁街に明治150年の歴史を知るツアー。後半は西郷隆盛の盟友大久保利通公の最後の馬車道を辿り、瀟洒な旧李王家邸・クラシックハウスを眺めて緑の木々の清水谷公園まで歩きます。

●コース 地下鉄千代田線/日比谷線/都営三田線 日比谷駅A10出口地上1 9:50集合→日比谷公園(日比谷見附・上屋敷跡:伊達家、毛利家、鍋島家)→薩摩屋敷跡・鹿鳴館跡→大岡越前守屋敷跡→黒田家上屋敷跡石垣→浅野家上屋敷跡→国会前庭→憲政記念館入館・WC休憩～国会議事堂外観→華族女学校跡→赤坂御門跡の石垣→クラシックハウス外観→清水谷公園13:00

日 時 平成30年11月4日(日)  
募集定員 20名

応募締切 平成30年10月26日(金)  
参加費 500円(保険料含)

## 10 「文明開化の霞が関・日比谷を歩く」

1868年に江戸から東京へ。明治天皇が現在の皇居に入られ、明治16年に鹿鳴館が開館。明治政府は、市区改正計画を推進し、各地に分散していた諸官庁を霞が関に集中させる計画を進めます。その後、仮議事堂が竣工、官庁集中計画の遺産建築である法務省旧本館が竣工。明治23年に帝国ホテルが開業、明治36年には日比谷公園が開園しました。

●コース 地下鉄丸の内線・日比谷線「霞が関」駅下車A1出口地上12:50集合→法務省旧本館→官庁街→帝国議事堂跡→日比谷公園→松本楼→樋口一葉生誕地→鹿鳴館跡→帝国ホテル→東京府庁跡16:00解散

日 時 平成30年11月8日(木)  
募集定員 20名

応募締切 平成30年10月25日(木)  
参加費 500円(保険料含)

## 11 丸の内を巡る～道三堀の開削から三菱払い下げによるオフィスビル街発展まで～

現在の「丸の内」地区はどう発展してきたのでしょうか。家康が江戸に入り、初めに手がけたことは「道三堀」の開削と「日比谷入江」の埋め立てでした。やがてここに大名屋敷が建ち並び、明治には官公庁や軍事施設、さらに三菱払い下げによるオフィスビルへと発展します。そんな「丸の内」の変遷を辿ります。

●コース JR線「東京駅」日本橋口12:50集合→東京駅日本橋口13:00→呉服橋跡→石橋→道三橋跡→評定所跡→伝奏屋敷跡→日本工業倶楽部会館→辰ノ口跡→和田倉門→行幸通り→丸ビル→明治生命館→三菱一号館美術館→東京中央郵便局(KITTE)→東京駅南口15:30解散

日 時 平成30年11月10日(土)  
募集定員 30名

応募締切 平成30年11月2日(金)  
参加費 500円(保険料含)

## 12 幕末から明治へ 板橋宿を通った人々

幕末の公武合体のため、皇女和宮は、中山道を通りこの板橋宿に宿泊。また、新選組隊長近藤勇は、板橋宿で処刑され、板橋駅東口に墓所があります。このほかにも明治天皇は、大宮の氷川神社へのお参りの際、板橋宿でお休みになっています。明治維新につながる人々の足跡をたどる旅に出かけましょう。

●コース JR「板橋」駅東口広場9:50集合→近藤勇墓所→旧中山道→加賀公園→任磨機任輪→板橋観光センター→平尾脇本陣→王子新道→遍照寺→本陣跡→木村玄洞宅跡→文殊院→仲宿脇本陣→板橋→縁切り榎→板橋本町駅13:00解散予定

日 時 平成30年11月10日(土)  
募集定員 20名

応募締切 平成30年11月3日(土)  
参加費 500円(保険料含)

## 13 近藤勇、野川の水車、陸軍調布飛行場、関東村、そして五輪施設—近郊の東京150年を歩き、2020へ—

新宿から電車で15分の調布、この地は幕末近藤勇が生まれ、明治期は東京近郊の農村地域。そこに昭和16年陸軍飛行場ができてB29迎撃拠点、戦後は米軍に接收され、昭和39年米軍の住宅地・関東村へ。それが2020年、オリンピックでは世界中から人々を迎えます。そんな東京近郊150年の痕跡を訪ねましょう。

●コース 西武多摩川線「多磨」駅12:50集合→関東村跡地→武蔵野の森公園展望の丘→掩体壕大沢2号→近藤勇生家跡→龍源寺(近藤勇墓)→水車農家→調布飛行場ターミナル→陸軍調布飛行場門柱→味の素スタジアム→武蔵野の森スポーツプラザ→京王線飛田給駅16:00解散

日 時 平成30年11月10日(土)  
募集定員 30名

応募締切 平成30年11月3日(土)  
参加費 500円(保険料含)

## 14 『都内初！葛飾柴又が国の重要文化的景観に決定！！』

葛飾柴又が、2018年2月13日に国の重要文化的景観に決まりました。葛飾柴又は地域の人々の生活、歴史、風土などによって形成され、それを今に伝える重要な景観地として評価されています。重要文化的景観を肌で感じに行きましょう。

●コース 京成金町線柴又駅9:45集合→柴又駅→帝釈天参道→帝釈天境内(彫刻ギャラリー・遼溪園)→山本亭→矢切りの渡し遠望→寅さん記念館→山田洋次ミュージアム→帝釈天二天門前→京成金町線柴又駅13:00解散

日 時 平成30年11月11日(日)  
募集定員 30名

応募締切 平成30年11月4日(日)

参加費 500円(保険料含) 拝観料: 彫刻ギャラリー・遼溪園400円・入館料: 山本亭100円・寅さん記念館・山田洋次ミュージアム500円

## 15 田園調布～等々力溪谷散策

東京の西南地方に広がる国分寺崖線は23区内に残された“水と緑”溢れる貴重な自然遺産であり、今も昔も人々の憧れと憩いの場所でもあります。今回は、南端の田園調布から古墳群と等々力溪谷を経て、歴史遺産たる九品仏浄真寺から自由が丘までを散策致します。

●コース 東急東横線「田園調布」駅12:30集合～田園調布～(バス)～等々力溪谷～(電車)～九品仏浄真寺～自由が丘(東急東横線・大井町線「自由が丘」駅)16:00解散

日 時 平成30年11月17日(土)

応募締切 平成30年11月10日(土)

募集定員 20名

参加費 500円(保険料含)

## 16 青梅宿・津雲邸「明治150年記念展」と紅葉の御岳溪谷散策

前半はJR青梅駅周辺の社寺を回った後、昭和初期の和風建築「津雲邸」で「明治150年記念展示・幕末から明治へ～英傑たちの書状・書画展」を見学します。後半は電車で青梅駅から御嶽駅へ移動し、紅葉の映える多摩川沿い遊歩道を30分散策。秋の午後を「東京の奥座敷・青梅」で過ごしましょう。

●コース JR青梅線青梅駅12:30集合→住吉神社→宗建寺→延命寺→津雲邸→青梅駅～電車(青梅線)で御嶽駅へ→御岳溪谷遊歩道→澤乃井園16:00解散

日 時 平成30年11月18日(日)

応募締切 平成30年11月4日(日)

募集定員 30名

参加費 500円(保険料含) 別途:津雲邸入館料500円 電車賃:青梅～御嶽170円

その他 澤乃井園(小澤酒造)で有料の利き酒が楽しめます。

## 17 幕末に活躍した新選組のふるさと日野宿を巡る

甲州道中にある日野宿は幕末に活躍した近藤勇、土方歳三、沖田総司、井上源三郎、佐藤彦五郎など新選組にゆかりのある地であると共に江戸後期に建てられた本陣(東京都指定史跡「日野宿脇本陣」)がそのままの形で現存する都内唯一の宿場町です。幕末期に思いを馳せながら、新選組ゆかりの地をご一緒に巡ってみませんか。

●コース JR中央線日野駅13:00出発→宝泉寺(井上源三郎墓所)→坂下地蔵(西の地蔵)→新撰組のふるさと歴史館(入館)→大昌寺(佐藤彦五郎墓所)→日野宿本陣(入館ガイド説明有)→八坂神社(日野宿の鎮守)→JR中央線日野駅16:00解散

日 時 平成28年11月18日(日)

応募締切 平成28年11月11日(日)

募集定員 30名

参加費 500円(保険料含) 別途:日野宿本陣共通観覧券(歴史館・本陣)大人(高校生以上)300円、小人70円

## 18 三鷹から吉祥寺へ一玉川上水「風の散歩道」と井の頭公園散策

歴史と緑と昭和の文学を訪ねて、水と緑が心を癒す玉川上水沿いに、三鷹駅から井の頭公園へと進み、ビューポイントや、太宰治、山本有三、武者小路実篤など三鷹市・武蔵野市ゆかりの文人の足跡を訪ね歩きます。

●コース JR中央線三鷹駅改札口前12:45集合→太宰ゆかりの地(中鉢家跡、田辺肉店離れ跡、小料理屋「千草」跡・野川家跡、玉鹿石)→太宰治文学サロン→禅林寺(太宰治墓)→太宰治旧居跡のさるすべり→山本有三記念館【入館】→玉川上水・風の散歩道→井の頭公園(三鷹の森ジブリ美術館【入館せず】→万助橋→松本訓導碑→井の頭弁財天→七井橋)→吉祥寺駅 15:45 解散

日 時 平成30年11月18日(日)

応募締切 平成28年11月10日(土)

募集定員 20名

参加費 500円(保険料含)(山本有三記念館入館料300円)

## 19 村上春樹の国分寺とチョコレートハウス、タンポポハウス…

毎年秋になるとノーベル賞候補で話題になる村上春樹氏の国分寺時代の跡地を振り返り、さらに現江戸東京博物館の館長で、野蠻ギャルドを自称する藤森照信氏設計チョコレートハウスなど建築群を訪ねます。そのうちの一つ、丘の上のAPTは、国分寺を拠点に活躍した画家、児島善三郎氏のアトリエ跡地に建てられたギャラリーです。

●コース JR中央線国分寺駅南口→村上春樹の住居跡1→チョコレートハウス、丘の上のAPT→春樹の住居跡2→武蔵国分寺公園→真姿の池→オタカフェ(万葉植物園/武蔵国分寺などが近い)→お鷹の道→タンポポハウス→春樹のジャズ喫茶ピーターキャット跡→国分寺駅の目の前にある殿ヶ谷戸庭園(入口で解散、希望者は紅葉の庭園内をご案内)

日 時 平成28年11月29日(木)

応募締切 平成28年11月17日

募集定員 30名

12:45 集合 - 15:50 解散

参加費 500円(保険料含) 殿ヶ谷戸庭園に入園希望の場合は、入園料150円/(65才以上)70円